

浅草にある カタナバさんで 抜刀体験 させて頂きました。

店主様は、弊社のお客様でもあり、抜刀で使用する刀を購入して頂いております。沢山の日本刀を見てきましたが、実際に斬らせてもらう体験は初めてでした。



初めての体験だったので緊張しましたが、刀を握った瞬間、自然と集中力が高まってきました。力を入れずともスッとうまく斬れた時は、今まで味わったことのない感覚でした。少しの時間、本物の侍になれた気になり、とても貴重な体験をさせて頂きました。

居合術は、室町時代後期に成立したと言われていいます。刀を抜いた状態で相手と向かい合う「立合」が、互いに戦闘準備を整えた上での戦いであるのに対し、「居合」は刀を鞘に収めた状態でスタートすること。戦闘準備が整わないうちに敵の攻撃を受けた場合の戦いであり、鞘から日本刀を抜く一瞬が勝負だそうです。そのため「抜刀」の字をあてて「いあい」と読む流派も存在しています。

起源は、「林崎基助」だと言われています。「出羽国」(でわのくに:現在の山形県)で生まれた基助は、幼少期に闇討ちによって父を失いました。敵討ちのため、13歳にして修行に出ました。熊野明神に参籠し、そこで「神妙秘術の純粋抜刀」の奥義を神授されたとされています。そして20歳のとき、京にて父の敵である「坂上主膳」を討ち、本懐を遂げました。その後、各地で門弟を育てた基助は、居合術の基礎を確立しました。(※さんろう:祈願のため、寺社などに一定期間籠ること)

居合抜刀
カタナバ
11:00~16:00
住所: 東京都台東区浅草2-27-17
要予約

抜刀道全国大会の試合でも多くの功績を残しており、専門のインストラクター剣士です。安全にご指導して頂けるので、初心者の方でも安心して体験が出来ます。東京に行く機会があれば、是非体験してみてください。



届けますっ! 大和魂 2023年2月 Vol.52

経営理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

今年の一文字 桜

初

こんにちは、花本隆資です。昨年もご愛顧頂きまして、ありがとうございます。私の今年の一文字は「初」です。今年は先の数年と比べて、比較的時間に余裕が生まれてくると思っています。改めて初心を振り返り、初心を忘れず、初めてのことに挑戦していこうと思っています。お客様、社員、家族への感謝を忘れず、初心を大事にしながら着実に一歩ずつ歩んでいこうと考えています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



明けましておめでとうございます。島谷貴子です。私の今年の一文字は「上」です。次女が中学生になるので、楽しい中学生生活になるよう、母として盛り上げていこうと思います。更なる商品知識の向上をし、お客様が求めている商品のご提案を目指していきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

上

力

こんにちは、中堀明美です。2023年もどうぞよろしくお願い致します。私の今年の一文字は「力」です。プライベートでは自分に甘く、何かと妥協したり、出来ない事はすぐにあきらめがちです... (特にダイエットに関しては始める前からあきらめてます) 去年の自分よりも、決断力と行動力を磨き、決めたことは最後までやりぬく、実行力を高めていきたいと思っています。仕事では、これまで以上に団結力を持って、貴方様(お客様)により良いサービスをご提供出来る様に頑張りますっ!! パワー!!!



新春 お年玉プレゼント

弊社のお客様が過去に当選された賞品

今年はおなたに当たるかも!?

同封の応募用紙に以下の項目全てご記入の上 Fax・メール・はがきにてご応募下さい。

- 1 クイズの答え
- 2 大和魂の正直な感想(酷評歓迎)
- 3 大名、大和魂へのご要望

※当選された方は写真を掲載させて頂きまますのでご了承下さい。



今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名: ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



有限会社 大名

最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

こんにちは、島谷貴子です。

今号は「江戸時代の兜」について語らせて頂きます。

語ります 大和魂

変化

室町時代後期は全国的に戦乱があり、実戦向きの兜が製作されていましたが、江戸時代に入ると、好みだけではなく、更に装飾が派手な兜が流行していきました。しかし武士同士の争いがなくなると、甲冑師の需要がなくなります。その結果、「戦の為の兜」ではなく、「装飾の為の兜」へと変化していきました。



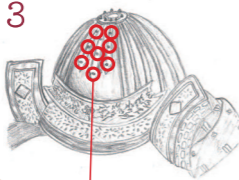
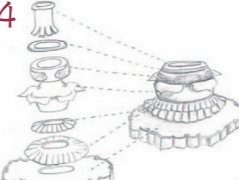



「装飾の為の兜」とは?

封建社会の為、将軍家・藩主に逆らう行動があった場合は厳しい処罰がありました。そんな中、戦の為の兜を製作していたらどうでしょうか。謀反の嫌疑をかけられてもおかしくはありません。その為、美術品や装飾品として美しいと評価されていた、大鎧などの古式甲冑を中心に模範「復古調」の甲冑が流行していきました。

江戸時代中期頃からは、藩お抱えの甲冑師による美術工芸品的価値の高い甲冑作りが主流となっていきました。大名たちは、甲冑師達の鍛鉄技術や工芸的技術を各派で競い、それぞれの地方色を生みだしていきました。飾った時、立派で華やかに見えるように、細部にまでこだわり、質の高い美術品としての兜として変化をしていきました。

復古調兜の特徴とは?

平安時代～鎌倉時代に流行した甲冑・兜を模範とした兜のこと。

<p>1</p>  <p>二十数間～三十数間 百二十間から二百間の筋兜</p>	<p>2</p>  <p>星兜の篠垂にも打つ 星兜の篠垂に星を打たない兜</p>	<p>3</p>  <p>筋兜の篠垂に星を打った兜</p>	<p>4</p>  <p>この部分を上から見た形状↑ 髪を出す為穴が大きく、4.5～5.2cm(平安)、3cm(鎌倉)、約3～4枚の装飾された金物を重ねている ←分解したもの 天辺の座を神宿る場所とし、装飾的で赤銅や素銅、真鍮等を用い9～13枚の金物を重ねている</p>
<p>5</p>  <p>筋に沿って打ってある 星兜の星が筋と筋との中央に打ってある</p>	<p>6</p>  <p>同じ大きさである、7～10個(平安)、10～15個(鎌倉) 鉢の上にかくにしたがって、星が小型になる。25～30個以上</p>	<p>7</p>  <p>獅子形型の高彫りや、平文で作られたもの(平安) 曲線が上に長くある(鎌倉) 鍔、鍔形台も装飾的(首をしっかり守るように作られ、山の裾野の様に広がっている鍔)</p>	

甲冑の終焉とともに

江戸後期、幕末になると倒幕運動が起こり、再び戦乱の時代となり「戦の為の兜」へと逆戻り。簡単に量産な兜を求められるようになりました。

しかし、今までの槍や弓、鉄砲などの戦ではなく、洋式銃や大砲などの武器に変化していくと、その戦闘法に対応できなくなった甲冑は、江戸時代が終わったと同時に役割を終えてしまいました。

今号で「兜の変遷について」の記事は終わりです。いかがでしたでしょうか?時代の変化に応じて、頭を守る為の兜～戦で武功を上げた時にすぐ分かるように目立つ兜～飾って美しく、見栄えのいい兜へと変化をしていき、調べていくうちにとても楽しくなっていました。戦の為の兜を作りたくても文献が残っておらず、完全に同じものを江戸時代に作ることは出来ませんでした。古き良きものを後世に残していくという、日本人の文化を感じることが出来ました。現代でも数少ない甲冑師さんが日本のよきものを後世に残す為、大切に保存や修繕をしています。私も、私が出来ること、日本のよき文化をこれからも語り繋げていくことが出来たらと思っています。

日本の歴史に タイムスリップ!

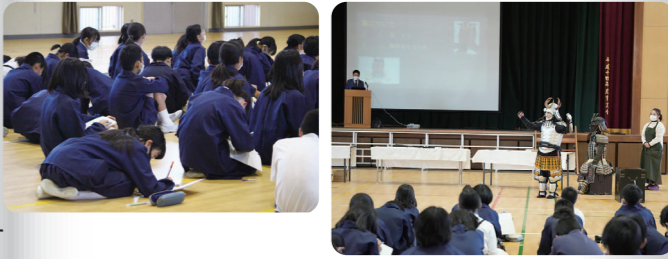
こんにちは!ハナエモンこと花本隆資です。

先日、広島県尾道市内の栗原小学校で6年生の子供達に歴史の授業をさせて頂きました。この栗原小学校、実は私の母校でもあり、息子が通っている小学校でもあるんです。また、大名のスタッフ全員の子供達も通っている学校なんです。2時間の長丁場なので、子供達が楽しい授業をするにはどんな内容だと良いのだろうかスタッフ一丸となって準備をしてきました。

1時間目

会社紹介と鎧・日本刀についてお話をさせて頂きました。

「鎧と一言で言っても、沢山の形、色、材質の違いがあるんだよ。」「刀も長さ、形もそれぞれ違うんだよ。」「この兜は何をモチーフにして作られたか分かりますか?」と質問をすると、みんな積極的に手を挙げて発言してくれて、本当に嬉しかったです。1時間目の授業が終わると、「もう一回、資料が見たいのでスライドを戻してもらえますか?」と前向きな子もいたり、しっかりと聞いてくれているんだと感動しました。



2時間目

休憩後2時間目は、実際に鎧、兜に触れてもらいました。刀が入った拵を実際に両手で持たせてあげると「重っ!こんなの振るの?」と大はしゃぎでした。レプリカの兜を被るコーナーでは大行列になっていました。



Q&A

続いて子供達からの質問タイムです。最後に7問ほど、歴史O×クイズをしました。簡単な問題からマニアックな問題まで出しましたが、3人の子供達が最後まで残っていました。子供達はO×を移動するのに大騒ぎでした。

どこで鎧や馬を買っていったんですか?

弓はどのくらい飛ぶんですか?

武士が一番持っていた武器は何ですか?

鎧は着ていて、肩は痛くならないのか?

沢山の質問をしてくれました

授業の最後に、生徒の一人がまとめを話してくれました。**「今日聞いた日本の歴史、見た鎧を僕たちも次の世代に繋げていきたいなと思いました。」**と、素晴らしい感想を頂いて、授業を終えました。

よきものを残したい

次のハナエモン候補達ですね! 有限会社大名でお待ちしております。

何の為にこの仕事をしているのだろうか?そんな事を考えた約10年前。いつか子供達に日本の歴史に興味を持ってもらう、好きになってもらう“きっかけ”になる歴史の授業が出来たら嬉しいなと思いました。当日、生徒達が目をキラキラさせて、鎧を見たり、触ったりしてくれている姿を見て、本当に嬉しかったです。機会があれば、来年も、そして違う小学校でもこんな授業をさせて頂いたら嬉しく思います。